



運動会でハワイに行こう

会員 亀井 時子 (19期)



目録を受け取る筆者
(第52回
東弁大運動会にて)

岡晴夫の「憧れのハワイ航路」が、最近テレビで流れました。亡くなった石本美由起さんの歌だったんですね。戦後の食うや食わずの時代に、ハワイは庶民の憧れ、高嶺の花でした。私は小学生のころ、この歌でハワイを初めて認識しました。当時は船で行くハワイ航路です。今や、「憧れのハワイ航路」は飛行機になり、運動会の福引きの景品になってしまいました。「ハワイが当たる人もいるんだなあ」と思っていたところ、自分が当たってしまっ。ハワイの福引きは3回目で、「当たり」でした。運動会委員二十数年歴の主催者側なのに、恐縮しながらも、辞退もせずに図々しくもらってしまいました。ありがとうございました。

ハワイは、何もなくても（泳げないし）、何も見なくても（観光するところもないし）、のんびり、気楽に、日本語で暮らせるのがいいところですね。ホテルのベランダで海を見ながら、全部忘れて、ビールを飲む、これが至福の時。とはいえ、いつも安売り屋のロストドレスやアウトレットの買い物にも精を出していますが。

昭和32年に始まった運動会、ここ二十数年皆勤で、マイクを握っています。ちなみに私は昭和42年登録。第1回運動会を経験しているのは高橋勝徳委員です。

運動会は、一家そろって楽しいですよ。小さい子どもさんたちが、お父さん、お母さんの運動会だと、親子で一緒にかけずり回るのは、一家円満の秘訣です。運動会でかけずり回っていた子どもさんが、弁護士になって、「昔、運動会に来てました。まだ続いていたんですね」と言われることもあります。こういう訪れはうれしい限りです。「弁護士会の経費をかけてやる意味があるのか」との声もありますが、福利厚生が何もない弁護士会が家族サービスに貢献するのは良いことじゃないですか。選挙の公聴会では運動会の是非を質問することもあります。もちろん是の候補者にしか投票しません。私は、何を言われようとマイクを離したくないため、運動会委員を続けているわけで、譲れません。「もう辞めろ」という声も聞こえないワケではないのですが、これは趣味以上ですから。でも、運動会委員は、6月がくるとシーズンがやってきたと、血が騒いでしまうんです。競技を考え指導している競技委員、安売り屋に副会長まで動員して賞品を買い占めに行く賞品委員、福引きの司会に弁護士生命をかけている師匠委員など役割を死守している世界です。ぜひ委員会にもご参加ください。今年も11月3日、第53回の運動会が六義園で開催されます。参加費は無料。福引きの他にも、早出賞、競技には豪華賞品も出ます。

ぜひ皆さん、運動会で、ハワイに行きましょう。